

日本語教師と日本語教育が 差別に反対するためのアクションプランを考える —人権・民主主義・法の支配の視点から—

「日本語教育の参照枠」の源流であるCEFRは、「人権」「民主主義」「法の支配」の推進を目指す欧州評議会によって作られました。現在のように排外主義が隆興する時代において、これらの理念は日本語教育と日本語教師が差別に反対するために、どのような力となるのでしょうか。本研修では、動画による講義とオンラインワークショップの組み合わせを通して、日本語教師と日本語教育が日々の実践の中で差別に反対する道を考えます。

研修動画

- ・ YouTubeでどなたでもご視聴いただけます

① 下記チャンネル内のプレイリスト

[反差別日本語教育ソリダリティ ch](#)

② QRコード



- ・ 研修期間終了後も視聴可能です。
- ・ ワークショップに参加されない場合も、仲間内での勉強会等にご活用ください。

ワークショップ

- ・ オンラインで開催します（全3回）

定員：各回20名

参加費：1回400円

- ・ 日本語教師に限らずご参加いただけます。

- ・ 研修動画の講師が各回に参加します。

※対話を前提にしたワークショップです。

予めご了承ください。

※お申し込み時はご本名をいただきますが、匿名・カメラオフでの参加も可能です。

民主主義

民主主義を考える

- ・ 講師：浪岡 新太郎 先生（明治学院大学）
- ・ ワークショップ日時：
2026年10月11日（日） 14：00～16：00

法の支配

日本語教育関係者と一緒に考える「法の支配」

- ・ 講師：杉本 篤史 先生（東京国際大学）
- ・ ワークショップ日時：
2026年11月15日（日） 14：00～16：00

人権

多文化共生社会を実現するために人権教育が果たす役割

- ・ 講師：高松 美能 先生（東北大学）
- ・ ワークショップ日時：
2026年12月12日（土） 14：00～16：00

ワークショップの詳細・お申込み：<https://peatix.com/event/5152937>

お問い合わせ：kato-ri@kanda.kuis.ac.jp（代表：加藤林太郎）

プロジェクトメンバー：加藤林太郎、佐藤剛祐、林エミ、小田佐智子